

## R6年度多機能型事業所すまいるはーと自己評価（放課後等デイサービス）

公開日：令和 7年 2月 14日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2	1	
	② 職員の配置数は適切であるか	6	2		児童人数に合わせて人員を配置している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	1	プレハブのバリアフリー化については優先順位を決めて対応していく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	4	3	1	都度片付けを行い、清潔にしている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	1	困ったことがあれば声を出し、こまめに解決できるようにしたい。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	1	年一回の支援評価の他、面談の際にも意見の吸い上げを行いたい。
	⑦ 事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		実施している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	4	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			定期的に行っている。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達及び放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	1	
	⑫ 支援計画には、各ガイドラインの提供すべき支援の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で支援内容から子どもの支援に必要な支援が選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		新しいガイドラインに沿った内容を実施していく。
	⑬ 各支援計画に沿った支援が行われているか	6	2		実施している。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		実施している。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	8			特別な活動は長期休暇等を活用しながら、様々な経験ができるよう工夫している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか	7	1		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	2	グループLINEを積極的に活用している。又、グループでその日の流れを確認をするようにする
⑱ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	3	2	勤務時間が異なるため、翌日の朝に申し送りしている。	

R6年度多機能型事業所すまいるはーと自己評価（放課後等デイサービス）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	1	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、各支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2		
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	3		
	㉓ 学校等との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		学校により異なり、ご家族より調整していただくことが多い。
	㉔ 医療的ケアが必要な子どもを支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等との連携、及び子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	3	現在はいいない。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、小学校や特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	4		
	㉖ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		4	1	現在はいいない。必要時行っていく。
	㉗ 他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	3	近くにセンターはなく、連携は難しい。
	㉘ 保育所・認定こども園等や放課後児童クラブ等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	7	現状は難しい。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	2	3	参加をし、会議で報告をしている
	㉚ 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1	1	
	㉛ 保護者の対応力の改善を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		2	5	
保護者への説明責任等	㉜ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		
	㉝ 各ガイドラインの「提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された各支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	6	1		
	㉞ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		
	㉟ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1	1	合同参観日という形で実施した。今後も工夫しながら行っていく。
	㊱ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	㊲ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		1	定期的に発行できるように努力した。

R6年度多機能型事業所すまいるはーと自己評価（放課後等デイサービス）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑧ 個人情報に十分注意しているか	7			
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	3		5	移動キッチンカーを呼んでの行事を実施し、ご近所の方にも声をかけたが、参加はなかなか難しいようだった。
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1	1	周知方法を考えていく。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	8			
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状態を確認しているか	6	2		
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		1	事例があれば広く周知しみんなで気を付けていく。
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		

※児童支援向けアンケートを多機能型向けに標準化して評価しているため、自己評価の結果は児童発達及び放課後等デイサービスとも同じです。

【放課後等デイサービスについての課題と今後の目標】

自己評価については、職員全員に行ったほか、保護者からの支援評価結果をもとに、現在の課題と今後の目標について話し合いを行いました。内容については以下の通りです。

◎環境・体制整備について

・施設環境において、必要個所の整備についておおむね出来ている。バリアフリー化については完全ではないが、今後車いす使用児童の受け入れがあった場合使用するかどうかも検討し、優先順位を決めて整備していく。

・人員については基準通りに配置していることを改めて確認した上で、人材の育成等、現場での体制にも目を向け、必要時には募集などをかけていく。

◎適切な支援の提供について

・子どもたちの日々の変化について職員全体で共有できるように、グループLINEを積極的に活用している。支援計画に沿った支援が前提ではあるが、その日の体調や個人の波に合わせた柔軟な対応ができるよう、引き続き努力していきたい。

◎保護者への説明等

・契約時にしっかりと説明できるように努力している。利用開始後にも不明なことは気軽に声をかけていただけるように丁寧に対応していきたい。

◎非常時の対応について

・年に二回の避難訓練を実施している。様々なマニュアルについても施設入り口に掲示しているが、保護者の方に実際に手に取っていただく機会が少ないため、懇談会等の機会を活用して周知できないか、来年度は検討していく。

◎満足度について

・日々の支援についてはご満足いただき嬉しく思う。今後も職員全体で良い支援ができるよう努力していきたい。